

第5学年 体育科 学習構想案

日 時 令和4年6月13日（月）第5校時

場 所 荒尾市立中央小学校体育館

指導者 教諭 上村 大志

1 単元構想

単元名	地球が大変だ！		
単元の目標	(1) 表したい感じがより強調されるように、動きに変化と起伏をつけて踊ることができるようにする。 (2) 自己やグループにあった課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3) 表現に進んで楽しく取り組み、互いに認め合い、友達と励まし合って運動することができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① いろいろな題材から主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。	① 自己やグループの課題を見つけ、課題に応じて動きを選んだり、見合いや交流を工夫することができる。 ② 課題解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	① 表現運動に進んで取り組んでいる。 ② 互いのよさを認め合い、友達と助けあって、練習や発表、交流をしている。 ③ 場の安全に気を配っている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
友達といろいろな表現の仕方を工夫したり、その楽しさを味わったりしながら、表現運動の技能を身につけ、日常生活に生かそうとする児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
生活や自然の中から激しい感じや、変化のある感じの題材を選んで、表したいイメージを表現しよう！		表したい感じを即興的なひと流れの動きや簡単なひとまとまりの動きで「踊る」、他者の動きを「見る」、グループで協力したり、声をかけ合ったりして「支える」、課題に応じた表現の仕方や他者の考えを「知る」といった運動の多様な関わり方で表現運動の喜びや楽しさを味わうこと。	
指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時3／6）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○オリエンテーション ・学習内容を確認し、学習意欲を喚起する。 ・ウォーミングアップで動きづくりをする。 ・様々なテーマに合わせて、即興的に表現する。	★【態①】（観察・学習シート） ○楽しみながら、表現活動に取り組もうとしている。 ○これからの学習に意欲を持ち取り組もうとしている。
二	2 本時 2/2	「地球が大変だ！」からいろいろなイメージを広げ、ひと流れの動きで、即興的に表現する。 ① 個で動く時のポイントを知る。 ② 集団（群）で動くときのポイントを知る。	★【知①態①②③】（観察・発言・学習シート） ○題材の特徴を捉え、動きやリズムの変化をつけて即興でおどっている。 ○互いのよさを認め合い、自身の表現をふり返っている。
	2	「地球が大変だ！」の題材から、グループで表したい題材を選び、「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして踊る。 ① グループで題材を選び、簡単なひとまとまりの動きで表現する。 ② 表現をペアグループで見合い、表現の仕方を工夫する。	★【思①②態①②③】（観察・発言・学習シート） ○自己やグループの課題に応じた動きを選んだり、表現を工夫したりしている。 ○課題解決のために、考えを伝え、表現の練習に生かしている。
三	1	「地球が大変だ！」発表会 ・それぞれのグループで発表の場を作る。 ・発表会を開く。 ・振り返り、気付きや感想を伝え合う。	★【知①思②態②】（観察・学習シート） ○目的意識をもって、表現活動に取り組んでいる。 ○互いのよさを認め合い、自身の表現をふり返っている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校指導要領第5学年及び第6学年 [知識及び技能] (ア) 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。 [思考力、判断力、表現力等] 自己のやグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 [学びに向かう力、人間性等] 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合っって踊ったり、場の安全に気を配ったりすること。				
運動の価値				
高学年の表現運動は、「表現」及び「フォークダンス」で内容が構成され、これらの運動は、自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に投入してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合っって仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。				
本単元における系統				
第1学年及び第2学年 表現リズム遊び (ア 表現遊び) (イ リズム遊び)	第3学年及び第4学年 表現運動 (ア 表現) (イ リズムダンス)	第5学年及び第6学年 表現運動 (ア 表現) (イ フォークダンス)		
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態) 32人(男子14人、女子18人) かがやき学級3人(男子2人、女子1人)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(調査30人)				
調査内容	十分 (8割以上)	概ね (6割~8割程度)	その他 (6割未満)	
身近な生活などの題材を、大きな動きで表現できる	5	15	10	
身近な生活などの題材を、変化のある動きで表現できる	2	10	18	
身近な生活などの題材を、集団(4~5人)で表現できる。	9	11	10	
■本単元の学習に関する意識の状況(調査30人)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
・音楽に合わせて、表現したり、踊ったりすることは好きですか。	7	12	8	3
・友達の良い動きを見つれたり、考えたことを伝えたりしていますか	5	9	11	5
・約束やきまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。	12	15	3	0
■考察				
・全体的には、みんなで表現することに抵抗なく取り組むことができる雰囲気はあるが、どのように動けばよいか悩んだり、恥ずかしがったりして動きが小さくなる児童が多い。心と体をほぐすような活動を多く取り入れ、抵抗感を減らすとともに、どんな動きをすると変化の大きい動きになるのか、ポイントを示していく必要がある。 ・意識調査では、考えたことを友だちに伝えることに苦手意識を持っている児童が多かった。群で表現する動きを高めるためには大事な要素であるので、考えを伝え合い、動きが良くなっていく楽しさや喜びを味わうことができるような場の設定が必要である。				

3 指導に当たっての留意点

<学校教育目標より>

学校教育目標：「あいさつ、そうじ、発表 そして笑顔 一人ひとりを大切にす強くやさしい 中央っ子の育成」

・授業の始めと終わりの爽やかな挨拶。自発的に授業の場づくりや片付けに取り組む姿勢。仲間と共に高め合う集団づくりに向け、思考したことを伝え合う姿勢。一人一人が楽しみながら、最後まで諦めずに粘り強く取り組む姿勢を児童が体現できる授業づくりに努める。

<校内研修 視点1：学習過程の工夫>

- ・児童の実態から、表現する経験が不足していたり、苦手意識を持っている児童が多かったりすること等から学習過程の前半では、大きさや変化を表現する体の動かし方のポイントに焦点化する。
- ・単元のゴールに向け、学習過程の後半では、空間の使い方や仲間との関わりに関係するような集団(群)での動き方
- ・総合的な学習の時間で学んでいる「見つけよう生活と環境」の視点も表現活動の題材に取り入れ、想像力を広げる手立てとし、「はじめ」、「中」、「終わり」の場面の動きをひとまとまりにして表現することができるようにする。

<校内研修 視点2：学習活動の工夫>

- ・学習活動の前半では、様々な表現活動を取り入れ、子どもたちの心と体をほぐすとともに、体の動かし方が自然と身につくようにする。
- ・激しさや変化をつけやすいような様々な題材や音楽を用意し、一人で表現する場面からペアやグループで表現する場面を設定することで、表現の世界に浸ることができるようにする。
- ・配慮が必要な児童には、リラックスして活動できるよう和やかな雰囲気作りに努めたり、個別の支援を行ったりするようにする。

<その他>

- ・学習したことを他教科や日常生活の表現活動の場や仲間づくりに生かすようにする。

4 本時の学習

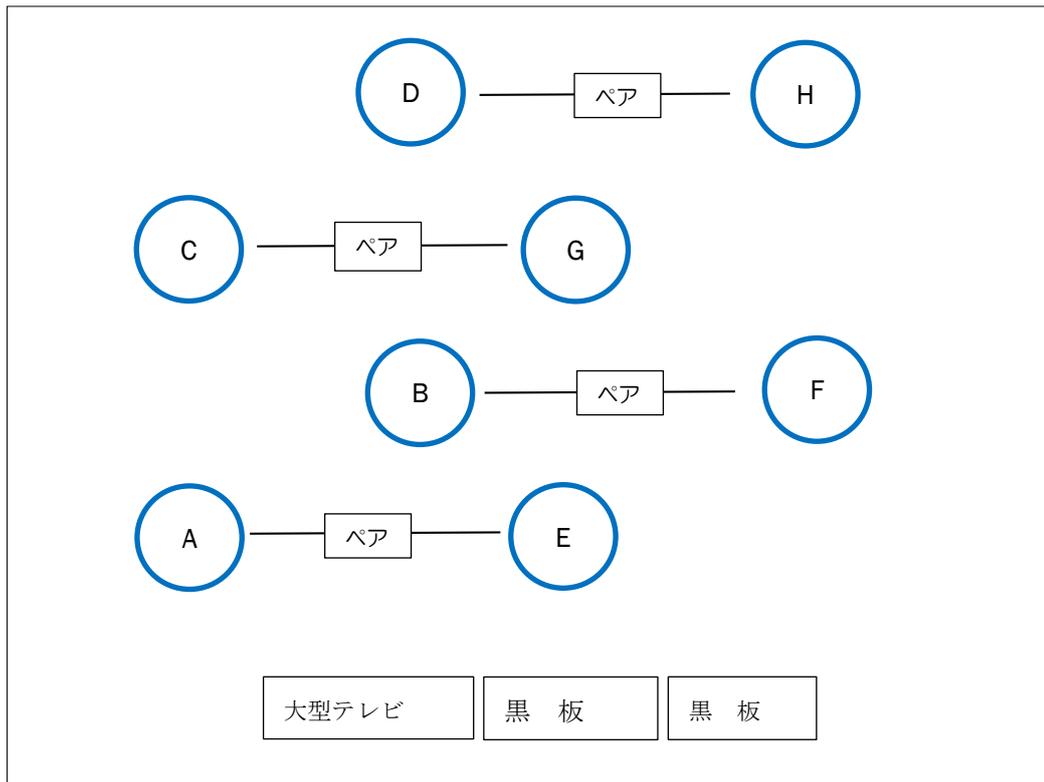
(1) 目標

いろいろな題材から主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に表現することができる。
(知識、技能)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等) □ : 運動の多様な関わり方
導入	15分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>① 準備運動 (熊本元気アップ体操)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会って二人組 (体ジャンケン) ・まねっこダンス (グループ) <p>② 本時の学習の流れを確認する。</p>	<p>○音楽に合わせた準備運動で体と心をほぐす。</p> <p>○BGMを流し、開放的な雰囲気で見やすいようにする。</p> <p>○前時で学んだ大きな動きのポイントを想起させる。</p>
		<p>【めあて】 いろいろな題材のイメージをグループで表現しよう <学習課題>グループで激しい感じや変化のある感じを表すには、どんな動きをしようとよいのだろうか？</p>	
展開	25分	<p>2 課題解決に向けて活動する。</p> <p>①好きなイメージを選び、グループで即興的に表現する。</p> <p>イメージカード (マグマがぐつぐつ→火山大爆発！) (地震発生→津波がきだぞ！) (昼休みの校庭→いん石落下で大パニック！)</p> <p>②ペアグループで、表現を見せ合い、各グループの工夫を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ~班は、急に広がったから大きく爆発している感じがした。 ◇ ~班は、順番に波を表現していて、どんどんきいている感じがした。 <p>③群での動きの工夫を取り入れ、表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 動きを順番にしていこう。 ◇ みんな一気にジャンプして広がるのはどうかな？ <p>【期待される学びの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の特徴を捉え、ひと流れの動きで即興的に表現している。 ・互いに言葉をかけ合いながら活動している。 <p>④ペアグループで、表現を撮影する。</p>	<p>○前時の表現の動画を見せ、激しさや変化のある動きを群で表現しているところに焦点化し、活動の見通しを持たせる。</p> <p>○BGMを流し、世界観に入りこませながら活動できるようにする。</p> <p>○前時に確認した、動きやリズムのポイントに着目した意見も認めつつ、空間を使った工夫や仲間との関わり方の工夫に着目させ、本時の課題にせまるポイントをつかませる。</p> <p>キーワード (一気に、順番に、集まる、広がる、散らばる)</p> <p>【具体的評価規準】 ○題材の特徴を捉え、ひと流れの動きで表現している。(知識・技能) (方法: 観察・発言・学習シート)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○群の動きのポイントを具体的に例示し、一緒に表現してみる。</p> <p>○同じチームで互いに支え合えるような雰囲気作りに努める。</p> <p>○班1台のタブレットを使い、撮影し、いくつかのグループの表現を見せる。</p>
		<p>【まとめ】 激しい感じや変化のある感じは、一気に動いたり、別々に動いたり、空間を大きく使ったりするとグループで表現できる。</p>	
終末	5分	<p>3 めあてに対する振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ みんなで動くと、もっと激しい感じになってよかったです。 ◇ 「地球が大変だ！」発表会に向けて、表現を工夫しようと思いました。 	<p>○学習カードをもとに振り返りを行う。</p> <p>○今日分かったことや、次がんばりたいことなど友だちとの関わりを視点に振り返りをさせる。</p>

【場の設定】



【ICT活用計画】

電子黒板による場の設定や練習方法、技のポイントなどの提示

- ・大型テレビを活用し、参考になる動きや表現等、視覚的に分かりやすくする。
- ・タブレットで課題解決に必要な動きを見たり、写真で確認しながら、動きのイメージ持つことができるようにする。

【見方・考え方を働かせて、終末や次時以降の学習に生かす計画】

見方・考え方を働かせ、単元の終末で次の単元に取り組んだり、次時以降の学習に生かしたりする。

例1：単元の終末に「発表会」を設定し、児童に目的意識を持たせた学習活動に努める。

例2：仲間と動きを作り上げていくことで、新しい発見や仲間と協力することの楽しさに気づかせ、日常の学習に生かすようにする。